

平成29年度

橋梁技術発表会及び講演会

参加費無料
定員 **250** 名
申込先着順

会場 レソラNTT夢天神ホール5F
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-5-55
Tel.092-781-8888

平成29年

日時 11 / 17 **金**
13:00~16:50

13:00~13:10 開会の辞 一般社団法人 日本橋梁建設協会
実行委員長 上原 正

13:10~13:25 橋建協報告
～協会を取り巻く環境と課題、取り組みについて～
広報委員会

第1部:技術発表会

**13:25~14:05 1.ここまで進んだ
鋼床版の疲労対策**
～垂直補剛材上端部と架設用吊金具ももう大丈夫～
床版小委員会 鋼床版部会 井口 進

14:05~14:15 休憩

14:15~14:55 2.重防食塗装の実際
～重防食塗装の耐候性に関する変遷～
製作小委員会 防食部会
宮下 剛

14:55~15:35 3.イズミット橋の工事報告
～上下部一括デザインビルドによる長大吊橋の建設～
海外事業委員会 島 宜範

15:35~15:45 休憩

第2部:特別講演会

15:45~16:45 国土とインフラについて学ぶ
～熊本地震を経験して～

国土交通省 九州地方整備局
熊本河川国道事務所 所長
森田 康夫



16:45~16:50 閉会の辞 橋梁技術発表会 実行委員会
副委員長 河合 良彦

申込方法 ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受付」まで
(受付は平成29年10月6日～11月3日)

申込期限 平成29年11月3日(金)

連絡先 一般社団法人 日本橋梁建設協会 九州事務所
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-17(第六岡部ビル)
株駒井ハルテック内 Tel. 092-475-6255

継続教育 CPDS認定予定

他 地 区 東京地区は 10月13日(金) 銀座プロッサムホール
大阪地区は 10月18日(水) ドーンセンター
中部地区は 10月27日(金) 東建ホール
北海道地区は 11月 2日(木) 北海道経済センター
東北地区は 11月10日(金) 仙台国際センター

にて開催です。

(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

技術発表会(第1部)の発表原稿(論文)は、当日配布をしております。ホームページに掲載しますので、各自ダウンロードして持参して下さい。(PPTの出力は当日配布します)

アクセス



- 西鉄福岡(天神)駅から徒歩2分
- 地下鉄空港線天神駅から徒歩5分
- 地下鉄七隈線天神南駅から徒歩5分
- JR博多駅から天神まで地下鉄で5分
- 福岡空港から天神まで地下鉄で11分
- 天神バスセンターから徒歩3分

1 ここまで進んだ鋼床版の疲労対策

～垂直補剛材上端部と架設用吊金具ももう大丈夫～

現在問題となっている鋼床版の疲労損傷は、道路橋に疲労設計が適用される以前に設計・施工されたものが殆どである。今の鋼床版は最新の知見に基づき対策が施され、疲労耐久性が大幅に向上している。そこで、過去の疲労損傷事例と対策を整理、再考し、そこから更なる疲労対策を提案する。

現行基準は、大型車輪荷重が常時載荷される位置直下に主桁ウェブを配置しないことでデッキプレートと垂直補剛材溶接部の疲労対策としているが、それを実施できない場合も少なくない。その対策として垂直補剛材上端部をカットする構造を提案する。また、板厚12mmのデッキプレートに存置された架設用吊金具溶接部にき裂が見つかった事例があるが、板厚16mmでは問題とならない可能性があり、架設用吊金具の使用後の処置方法について提案する。

2 重防食塗装の実際

～重防食塗装の耐候性に関する変遷～

鋼道路橋防食便覧に重防食塗装系が規定されて10年以上が経過するが、防食下地と高い耐候性を有した上塗り塗料の組み合わせで構成されるこの重防食塗装は、鋼道路橋における塗装の基本となっている。重防食塗装系に関する性能評価結果やメリットおよび今後期待される性能について紹介する。また、箱桁内における部材角部の処理に関する暴露試験途中の結果についても紹介する。

3 イズミット橋の工事報告

～上下部一括デザインビルドによる長大吊橋の建設～

2016年7月、世界有数の地震地帯であるトルコに世界第4位の長さを有するイズミット湾横断橋(正式名称:オスマン・ガーズィー橋)が開通した。本工事は上下部一括のデザインビルドであり、海底40mの軟弱地盤への海中主塔基礎の設置など厳しい条件の中、わずか施工期間3.5年で開通にこぎつけた。発表では、耐震性の確保と短納期での完工を両立させた構造上、施工上の工夫などについて紹介する。

特別講演会 講演者紹介

国土とインフラについて学ぶ
～熊本地震を経験して～

森田 康夫

国土交通省 九州地方整備局
熊本河川国道事務所 所長

講演概要

九州縦貫自動車道が被災後2週間にわたり全面通行止め、東西方向の生命線ともいべき国道57号が大規模な斜面崩壊により寸断、これと接続する国道325号阿蘇大橋も崩落。「平成28年熊本地震」は、わが国「日本」の国土の脆弱性と交通インフラの重要性を再認識させました。

本講演では、地震発生直後からこれまでの国土交通省(九州地方整備局)の対応を振り返るとともに、国土に対して働きかけを続け、将来世代に対して、より良いインフラを引き継いでいくことの意味を問います。

一略歴一

昭和63年 4月 建設省入省
平成 6年 10月 建設省九州地方建設局長崎工事事務所調査第二課長
平成 9年 4月 建設省九州地方建設局道路部道路計画第一課長
平成13年 1月 国土交通省道路局国道課長補佐
平成15年 4月 国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所長
平成17年 4月 国土交通省道路局国道・防災課企画専門官
平成19年 4月 国土交通省道路局地方道・環境課企画専門官
平成20年 3月 (財)国土技術研究センター首席研究員
平成23年 4月 国土技術政策総合研究所総合技術政策研究センター
建設マネジメント技術研究室長
平成27年12月 現職

平成29年度

11月17日(金)
橋梁技術発表会

[九州地区]

参加申込方法

一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association Inc.

ホームページよりお申込み下さい。

<http://www.jasbc.or.jp/>「技術発表会」
の申し込みはこちら。